

横浜市関係

- 1 市企画調整局都心臨海部総合整備計画担当、機構・役職も愛称「みなとみらい21」に統一。人事異動発令
- 2 「自治体革新をめざすよこはまの会」四人の次期市長選候補予定者発表
- 5 港湾局、「横浜港に関する市民意識調査」結果発表。横浜港からの連想、「豪華客船」二八・七％で一位
- 6 市長、日米市長・商工会議所会頭会議出席のため訪米（〜16）
- 13 市、身体障害者を対象とした職員採用選考申込受付開始（〜12/3）。▽水道局職員、覚せい剤取締法違反で逮捕
- 14 「みなとみらい21」計画、市環境アセス制度の準備書縦覧開始（〜12/13）
- 15 港北区に新田地区センターオープン。旧新田小の一部を転用・改修
- 16 市、水の缶詰二〇万缶、ポリ容器五〇〇個を市内一八カ所で販売（〜27）
- 18 横浜市老人問題研究会、中間報告を市長に提出。在宅福祉事業団、シルバークレジットなどを提言
- 19 市、総額六六億五、六〇〇万円の十二月補正予算案発表
- 20 横浜駅東西自由通路、全国一の三六mに拡幅され全面開通。東口の駅前広場もオープン。▽三菱重工横浜造船所のクレーン移送開始。▽市、山下公園・三ツ

自治体・国・社会

- 1 鎌倉市長選、投票率四二・九五％と最低を記録。小島寅雄氏初当選（2日）。2 全国初の特定地方交通線対策協議会、盛岡で開催。4 アジア・アフリカ・ラテンアメリカ文化会議川崎で開催（〜7）。5 川崎市役所、昼休み窓口業務開始。▽ロ事件で東京地裁、小佐野賢治被告に議院証言法違反で実刑判決。▽藤沢市と中国昆明市の友好都市締結調印。6 東京地裁谷合判事補、弾劾裁判所により罷免判決。7 厚生省、五十五年十二月末現在の医師、歯科医師、薬剤師の調査概況発表。医師は人口一〇万人当たり一三三・六人。西ドイツ二〇四人、米国一六八人。9 国土庁、4ヶ月半間の地価動向調査発表。総平均三・九％上昇。10 県労働部の「平均賃金・労働時間の概要」によると、一カ月の労働時間、八年ぶりに一九〇時間超え一九三時間。13 公務員二法（退職手当、定年制）衆院可決
- 14 県、全国初の「障害福祉白書」発表。20 運輸省、「東京湾港計画の基本構想」をまとめ港湾審議会に報告。▽社会党委員長公選告示。22 日本納税者

横浜市関係

- 沢公園内に「緑の相談所」開設
- 24 第一回横浜市社会福祉大会開催
- 25 「市民の市長をつくる会」、六人の次期市長選候補予定者発表
- 26 市会十二月定例会開会（〜12/8）
- 27 第六回六都県市首脳会議、東京開催
- 28 市長、「こども科学館」に建築許可
- 29 第一回横浜マラソン大会。山下公園を本牧市民公園間に二、一〇〇人参加
- 30 第三〇回横浜文化賞贈呈式
- 1 区役所・支所で戸籍関係（四三通）の届け出書類を一通化
- 7 市会本会議、十二月補正予算案、横浜市長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例案など原案通り可決
- 10 横浜国際歓迎協会、横浜市観光協会が合併。▽市公害対策局、環境管理計画策定に向け、基本構想検討会発足。▽よこはま女性の国際フォーラム一九八一開催。一五六国四七人の外国人参加
- 11 市会決算特別委員会開会（〜21）
- 12 YCAT利用客、開設三年で五〇万人突破。▽戸塚区に大正地区センターオープン。市内一六館目、区内三館目
- 14 市、金沢埋め立て地の新交通システム「金沢シーサイドライン」導入決定
- 16 みなと経済振興懇談会の研究第四

自治体・国・社会

- 連合発会式。26 労働省、中央雇用対策協議会で、来年度の大學生就職協定不参加宣言。27 「行革関連特例法」案、参院本会議で可決・成立。28 川崎市多摩区のミニ開発汚職で、同市土木局職員、収賄容疑で逮捕
- ▽国際大学スポーツ連盟、'85ユニバシアードの神戸開催決定。
- 28 県内学長と知事が懇談会。
- 30 第二次鈴木木内閣発足
- 1 神奈川県行政改革を考える懇話会初会合。4 人口問題研究所、将来人口新推計発表。総人口ピークは、二〇〇八年に一億三、〇三六万人。7 国税庁の「法人企業の実態調査」によると、全国の企業が昨年一年間に使った交際費、三兆一、一五二億円。8 バイオリン「ガタニーニ」売り込みに関連し、芸大教授収賄容疑で逮捕。11 日銀、公定歩合〇・七五％下げ五・五％に。▽国連安保理事会、ワルトハイム事務総長の後任にペルーのデクエアル氏選出。13 ポーランド、非常事態宣言、戒厳令。▽栗原藤次参野市長死去（76）。14 自治省五十五年度地方自治体汚職事件調査によ

ループ「横浜の経済中枢機能強化について」発足。▽行政区別工業会第一号として港南区工業会発足。▽「自治体革新をめざすよこはまの会」、市長候補に三野研太郎氏決定。▽「市民の市長をつくる会」、市長候補二人発表

12―市選管、次期市長選を五十七年三月二十二日告示、四月十一日投票と決定。▽市、市政モニターが選んだ「ことしの横浜一〇大ニュース」発表。一位、米軍貯油タンクの爆発・炎上。▽国内の駅で初めての壁画トイレが横浜駅にオープン

22―県知事、川崎・横浜市長による三首長懇談会開催。新横浜駅、川崎駅、羽田空港を結ぶ新交通体系導入合意

23―市会臨時会開会（〜26）

25―市長、横浜市新総合計画「よこはま21世紀プラン」を市会全員協議会に報告▽市、自治省通達に基づく職員給与の実態を「横浜市報」に公表

26―新自く井上市議、同党市議団を離脱

6―市長、市長選再出馬表明。▽米軍艦船LPD、ノースドックに入港（〜7）

7―自民、公明、民社、新自く、社民連の五党、細郷市長共同推薦。社会党は単独推薦。▽市、中区新本牧地区の土地区画整理事業について、建設省の事業認可取得

14―国税庁、税務署別最高路線価発表。

と、起訴は二二三自治体、一四六件、二六二人。▽労働戦線統一準備会発足。三九単産、約三七八万人参加。15―会計検査院、五十五年度決算検査報告。不適正経理は、二〇三件五一〇億円。16―大阪空港公害訴訟で最高裁、夜間飛行差し止め請求却下。▽米価審議会、消費者米価三・九％上げ答申。19―豊田市議会本会議、職員給与・退職手当引き下げの、給与・退職手当両条例改正案可決。21―愛知県津島市議会、「食品等の安全監視に関する条例」案可決。22―社会等初の委員長公選で飛島田委員長三選。六八％獲得。25―農水省、五十五年度食糧需給表発表。穀物自給率三三・三％。28―政府、五十七年度予算政府案決定。一般会計四九兆六、八〇八億円。31―五十六年の死亡原因、ガン一位に

1―「出入国管理及び難民認定法」施行。2―日本青少年研究所、日米比較による「高校生将来調査」発表。一週間の勉強時間、米国で五時間以内が五〇％。日本で五時間以上が九五・五％。4―五十六年厚生行政基礎調査によると、世帯総数三、六二二万一千世帯。うち核家族

市内一位は、横浜駅西口横浜高島屋前バスターミナル前通り。一八年連続一位

18―横浜ベイブリッジの海上部の橋脚基礎工事始まる。

19―消防局、米軍小柴貯油施設の立ち入り調査。爆発後九七日ぶり

20―みなと経済振興懇談会に研究第五グループ「横浜経済の国際化への対応について」発足。▽港区網島東の市民、父の遺産の一部として二、五〇〇万円を市に寄付

21―根岸線石川町駅前、石川町テニスクラブがオープン。一〇面、駐車場を含めて一万九〇〇㎡。▽下水道局、メタガスによる省エネ発電実験の中間報告

25―こども科学館建設に反対している住民一、三七三人、市建築審査会に対し、建築基準法による特例許可取り消しを求め審査請求

26―五十二年九月の緑区米軍機墜落事故被害者、土志田（旧姓・林）初枝さん死去。▽横浜の文化振興のための交流会開催。市民文化振興協議会等のメンバーで

28―横浜税関、昨年の横浜港貿易速報発表、輸出七兆八五四億円で全国一、輸入二兆五、八一七億円で全国二位

29―山下公園の眺望権訴訟の原告住民和解提案。「裁判費用を双方で市に寄付し和解金で公園の整備を」。▽「市民の市長をつくる会」、市長候補に井之川平等氏

二、一二二万四千世帯。独り暮らし老人九八万四千人。▽三日の全国の初もうで、七、八七〇万人と史上最高。11―昨年の年間自動車販売台数三八九万七二〇〇台。前年比二・六％減。

14―国税庁、四七都道府県所在地の最高路線価発表。四七都市の平均引き上げ幅一・五％。路線価日本一、東京新宿三丁目タカノフルツツパーラ前。一年連続トップ。一坪一、三六六万円。▽箱根町臨時町会、三役、議員等の給与、報酬引き上げ答申の減額提案可決。15―食糧管理法一部改正施行。▽成人の日、新成人一五六万人。18―大蔵省貿易統計によると、昨年の輸出入額、ドル表示で過去最高。20―運転免許証の即日交付システム、全国一斉スタート。

▽東名高速横浜インター付近の電光標示板に、地震警戒宣言の誤警報。22―EC域内一〇カ国の失業者数、年末現在一、〇二五九九、四〇〇人。▽最高裁、「新島ミサイル試験場入会権訴訟」で、村民側の入会権否定、上告棄却。29―五十六年国際収支、経常収支で四七億二、九〇〇万\$の黒字。▽蔵相、六十年年度までの「財政の中期展望」発表

資料は「広報よこはま」によったほか、主として神奈川新聞を参考にした。\*印は日付不確定のため新聞発行日。